

令和2年度協議会のポイントについて

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
福井県管理河川嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会

令和2年5月27日

(1) 令和元年度 協議会の取組状況について

(資料1の抜粋)

・国土交通省では、災害の切迫感を分かりやすく伝える取組みの一つとして、上流から下流まで連続的に洪水の危険度が分かる「水害リスクライン」のシステム整備を行い、水位情報などを提供しています。

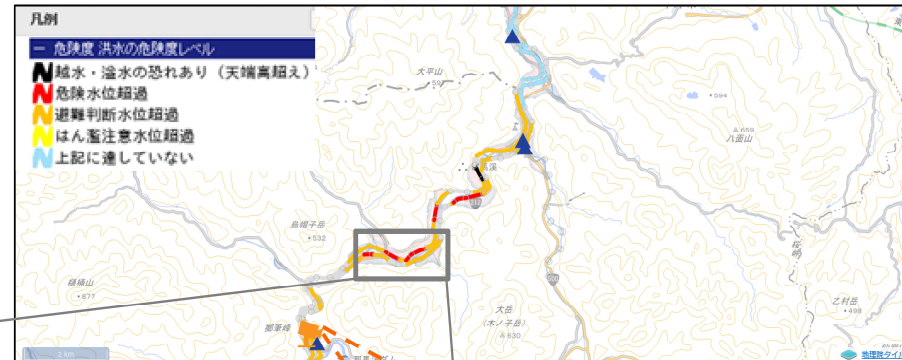
水害リスクラインを活用した洪水予報・危険度の表示

より身近な箇所の危険度を示すことで、防災行動の円滑化を齎ることを目的としており、「水害リスクライン」は、概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を表示や水位情報(テレメータ水位、予測水位(現時刻における6時間先予測))を見ることが出来るシステムです。

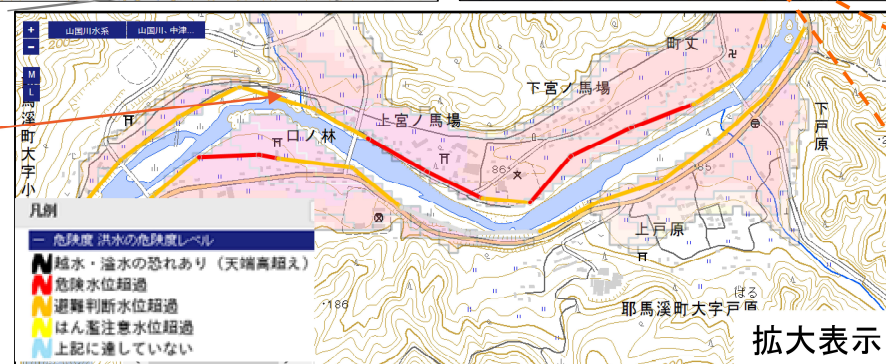
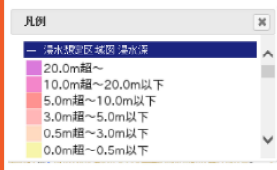
水害リスクラインの表示イメージ(山国川の例)

【平常時】

【平成30年7月豪雨時(再現)】



浸水想定区域図の重ね合わせ



2018/7/6 20:00

CCTVカメラ画像の表示




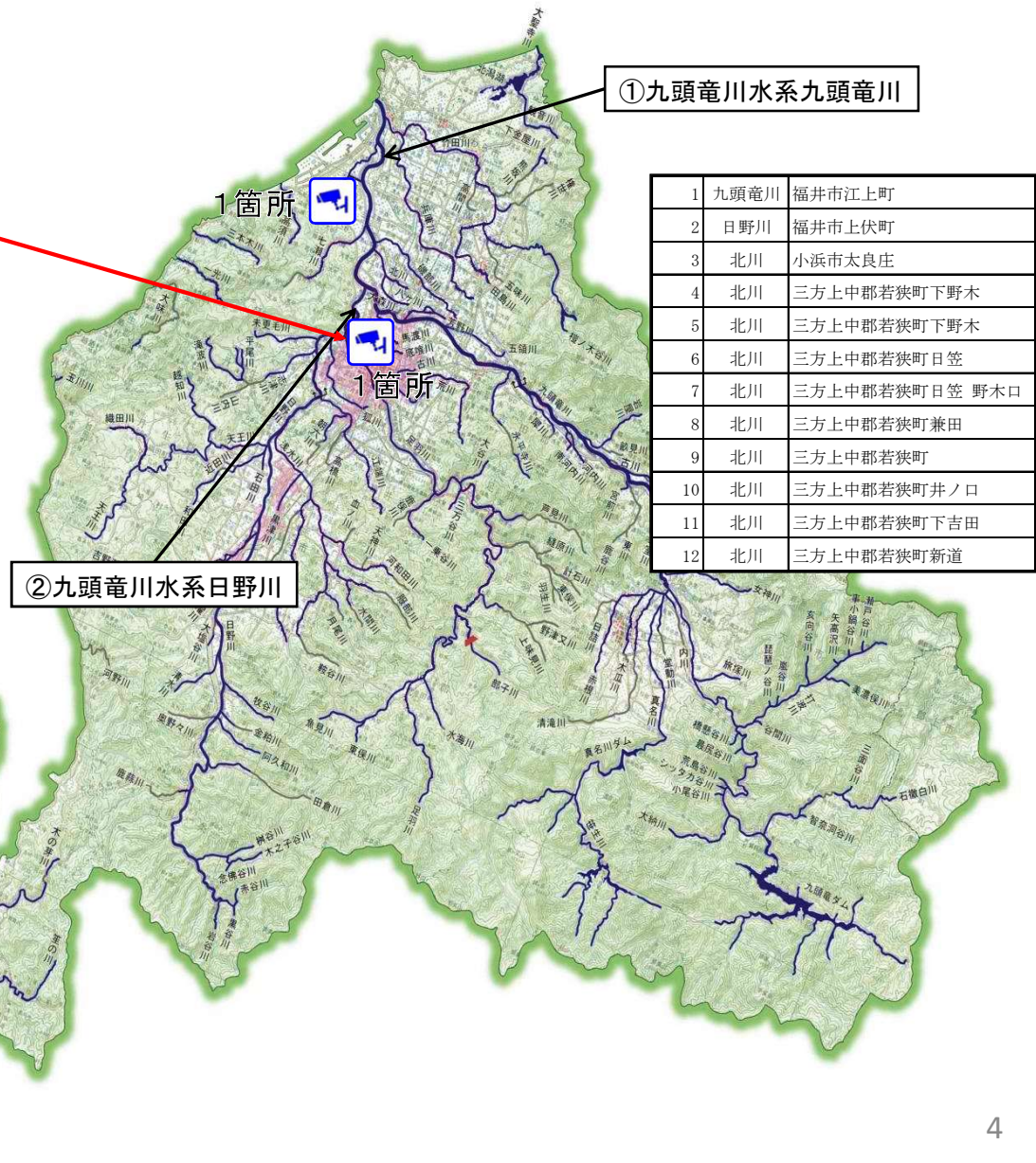
カメラ画像イメージ (ポップアップ)

水害リスクライン(自治体向け) [URL:https://frlg.river.go.jp](https://frlg.river.go.jp)
(一般向け) [URL:https://frl.river.go.jp](https://frl.river.go.jp)

早期の避難勧告等の発令判断や水防活動を支援するため、簡易型河川監視カメラを九頭竜川水系2箇所、北川水系10箇所設置しました。カメラ画像を住民に提供することで、避難行動に繋がります。

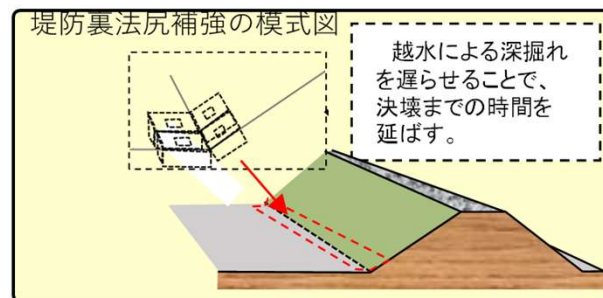


 簡易型河川監視カメラ 設置



堤防裏法尻の補強について、令和2年度実施予定を前倒して、令和元年度に実施することで、危機管理型ハード対策の早期完成を図りました。

堤防裏法尻の補強



堤防裏法尻補強 (下江守地区)

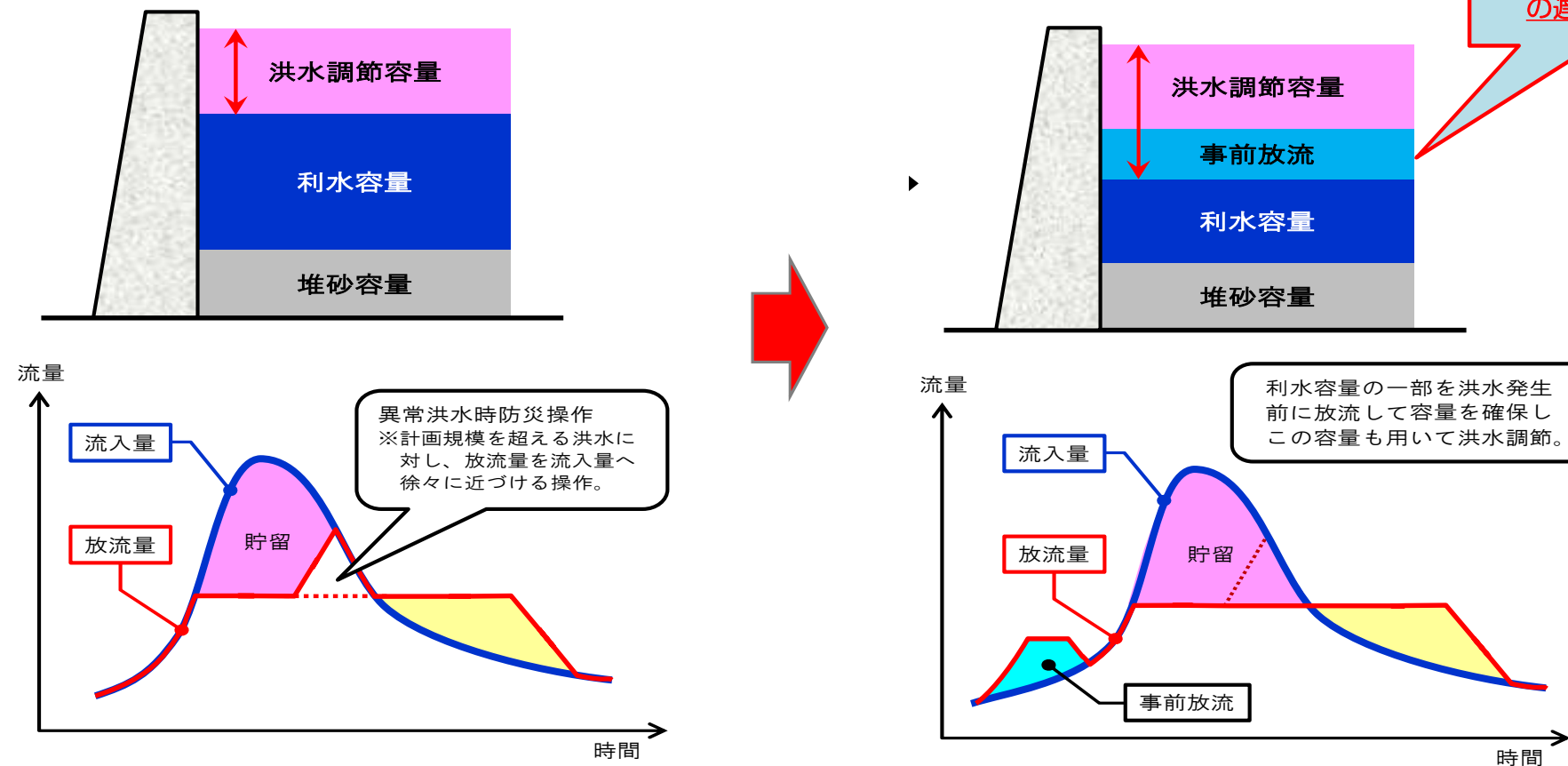


●より効果的なダム操作等による洪水調節機能の強化 利水者との調整による**事前放流実施要領の策定**

平成30年7月豪雨及び令和元年台風19号において、甚大かつ長時間にわたる豪雨によって洪水調節容量を使い切り、異常洪水時防災操作(緊急放流)を実施したダムがあったことについて、異常洪水時防災操作を回避する有効な手段の一つとして、利水容量の一部をあらかじめ放流し、より多くの洪水調節容量を確保する事前放流(洪水貯留準備操作)があります。

利水者との調整により九頭竜ダムでは令和元年9月、真名川ダムでは令和元年7月に事前放流実施要領を策定し、より多くの洪水調節容量を確保する事前放流の運用が可能となりました。

事前放流のイメージ



計画規模を超える洪水に際して、**異常洪水時防災操作の回避や実施の遅らせ**が可能

利水容量の一部を洪水発生前に放流して容量を確保しこの容量も用いて洪水調節。

⑤ 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成(P25)

洪水予報河川: 5河川【日野川[※]、足羽川[※]、竹田川、笙の川、南川】



水位周知河川: 15河川【九頭竜川、兵庫川、赤根川、清滝川、荒川、江端川、天王川、浅水川、
鞍谷川、吉野瀬川、耳川、鮎川、遠敷川、佐分利川、関屋川】

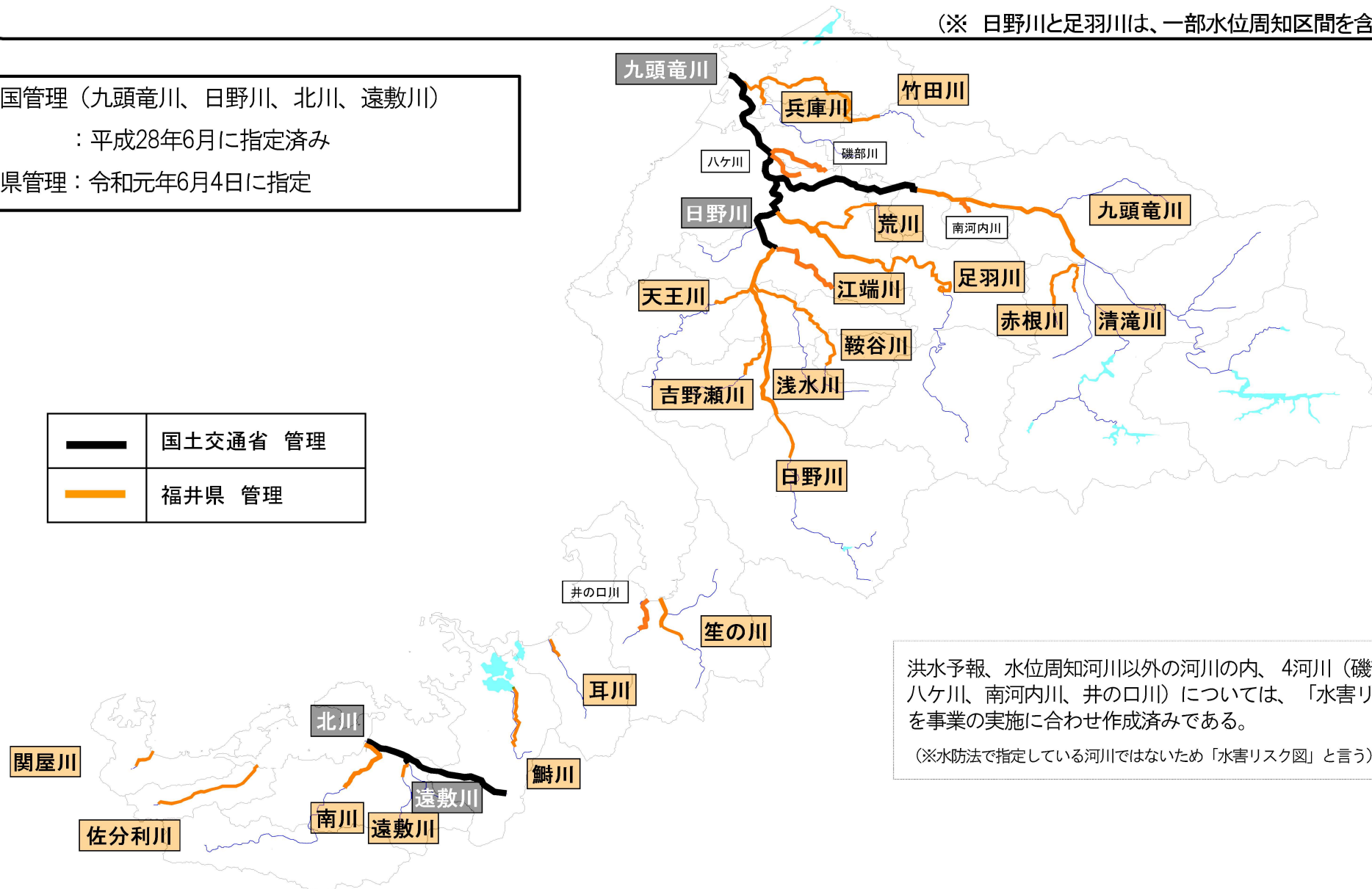
(※ 日野川と足羽川は、一部水位周知区間を含みます)

国管理 (九頭竜川、日野川、北川、遠敷川)

: 平成28年6月に指定済み

県管理: 令和元年6月4日に指定

	国土交通省 管理
	福井県 管理



洪水予報、水位周知河川以外の河川の内、4河川 (磯部川、八ヶ川、南河内川、井の口川) については、「水害リスク図[※]」を事業の実施に合わせ作成済みである。

(※水防法で指定している河川ではないため「水害リスク図」と言う)

⑥ 水位計・量水標、河川監視カメラ設置の検討と情報共有(県) P.27

福井県

迅速な住民避難につながる情報の充実を図るため、水位計および河川監視カメラを追加配備しました。

➤ 令和元年度、県の水位計(危機管理型)を2箇所追加

県水位計99⇒101(従来型83、危機管理型18)

➤ 令和元年度、県の河川監視カメラ(簡易型)を19箇所新設

県カメラ25⇒44(従来型25、簡易型19)

従来型			危機管理型		
番号	観測所名	河川名	番号	観測所名	河川名
1	九十九橋	足羽川	22	安沢橋(石塚)	磯部川
2	朝谷	足羽川	23	石塚	竹田川
3	荒川水門(荒川水位)	荒川	24	坪江	竹田川
4	荒川水門(足羽川水位)	足羽川	25	川上	竹田川
5	河増	荒川	26	平岩	竹田川
6	原目	荒川	27	諏訪間	永平寺川
7	江端川水門(江端川水位)	江端川	28	小舟渡	九頭竜川
8	江端川水門(日野川水位)	日野川	29	比島	九頭竜川
9	江端	江端川	30	松丸	九頭竜川
10	狐川水門(狐川水位)	狐川	31	井の口	真名川
11	狐川水門(日野川水位)	日野川	32	新在家	清滝川
12	若杉	狐川	33	大橋	赤根川
13	上里	底喰川	34	貝皿	石徹白川
14	上森田	芳野川	35	黒当戸	真名川
15	安保	朝六ッ川	36	秋生	真名川
16	岩崎(金井)	竹田川	37	栄	浄土寺川
17	六日	竹田川	38	長山	浄土寺川
18	矢地	竹田川	39	砂留花橋(第3警報局)	浄土寺川
19	里竹田	竹田川	40	出作	浅水川
20	下兵庫	兵庫川	41	黒津川水門(黒津川水位)	黒津川
21	長屋	田島川	42	黒津川水門(浅水川水位)	浅水川
			43	鳥羽	浅水川
			44	糺橋	日野川
			45	松成	鞍谷川
			46	北中	河和田川
			47	宝泉寺	天王川
			48	江波	天王川
			49	近田橋(気比庄)	和田川
			50	田中	和田川
			51	石田川水門(日野川)	日野川
			52	石田川水門(石田川)	石田川
			53	中平吹	日野川
			54	北	浅水川
			55	家久(吉野瀬川)	吉野瀬川
			56	上太田	吉野瀬川
			57	粟田部	鞍谷川
			58	東庄境	服部川
			59	稲荷	足羽川
			60	河内	足羽川
			61	新保	魚見川
			62	家久(鯖江)	日野川
			63	聖橋	日野川
			64	今庄	日野川
			65	二ッ屋	日野川
			66	岩谷	日野川
			67	呉竹	笙の川
			68	野神	笙の川
			69	堂	笙の川
			70	木の芽	木の芽川
			71	四石橋	井の口川
			72	河原市	耳川
			73	鳥浜	はず川
			74	三方湖	三方湖
			75	和久里	南川
			76	中井	南川
			77	和多田	南川
			78	小倉	南川
			79	遠敷	遠敷川
			80	四分一	松永川
			81	本郷	佐分利川
			82	小和田	関屋川
			83	山田	大津呂川

赤: 令和元年度2箇所

従来型			簡易型		
番号	監視所名	河川名	番号	監視所名	河川名
1	九十九橋	足羽川	1	原目	荒川
2	朝谷	足羽川	2	灯明寺	馬渡川
3	勝見	荒川	3	江端川水門	江端川
4	江端町	江端川	4	内山梨子	七瀬川
5	若杉	狐川	5	天池	大森川
6	上里	底喰川	6	松城	古川
7	上新橋	竹田川	7	石上	河内川
8	下兵庫	兵庫川	8	牛ヶ原	日詰川
9	新庄	赤根川	9	元町	大蓮寺川
10	横枕	清滝川	10	北郷町東野	畝見川
11	比島	九頭竜川	11	東庄境	服部川
12	万代橋	日野川	12	稲荷	足羽川
13	聖橋	日野川	13	糺橋	日野川
14	上太田	吉野瀬川	14	上河端	穴田川
15	粟田部	鞍谷川	15	戸口町	河和田川
16	鳥羽	浅水川	16	江波	天王川
17	宝泉寺	天王川	17	木ノ芽橋	木の芽川
18	呉竹	笙の川	18	井崎橋	はず川
19	河原市	耳川	19	新保	野木川
20	鳥浜	三方湖			
21	和久里	南川			
22	羽賀	江古川			
23	無悪	鳥羽川			
24	遠敷	遠敷川			
25	小和田	関屋川			

赤: 令和元年度19箇所

河川監視カメラ(簡易型)とは、機能を限定した低コストの河川監視カメラ(首振り、ズーム、動画、夜間の赤外線等の機能なし)

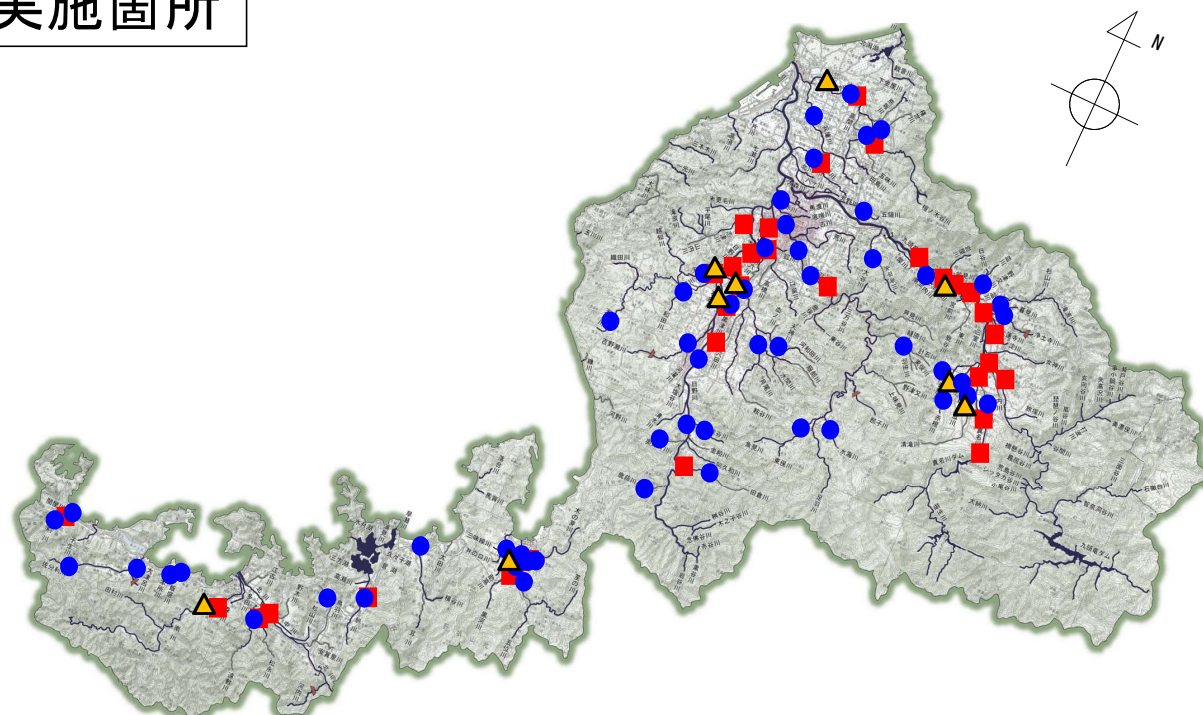
○安全に洪水を流下させるために堆積土砂撤去、樹木伐採等を実施しました。

○平成30年度補正予算からは、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」も活用し、しゅんせつ・伐木を推進しました。

浚渫・伐木・天端舗装 R元年度実施箇所

令和元年度実施

河川数	箇所数
56河川	82箇所



	R元年度 (H30補正含む)
● 樹木伐採 (全体約300万m ²)	160万m ²
■ 堆積土砂撤去	26万m ³
▲ 堤防強化(天端舗装)	39km

⑧ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成 および避難訓練実施の促進支援(市町) P.38

福井県

施設管理者を対象とした講習会「講習会プロジェクト」を4市町において開催しました。
 座学(前期)とワークショップ(後期)を組み合わせることで、洪水・土砂災害の理解が深まり、計画作成が促進されました。
 計画作成義務のある法指定河川について、県内では、永平寺町、美浜町、若狭町が作成を終了しました。
 計画作成後は、施設が避難訓練を実施し、訓練結果をもとに計画の見直し・改善を図ります。

令和元年度計画作成状況(法指定河川※20河川)

年度	施設数	計画作成数	計画作成率	備考
H30年度末	840	95	11%	計画規模
R元年度末	1445	571	40%	想定最大規模

※水防法に規定する洪水予報河川、水位周知河川



永平寺町



越前市



南越前町



敦賀市

県管理河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、9市町において、ハザードマップの作成に着手しました。

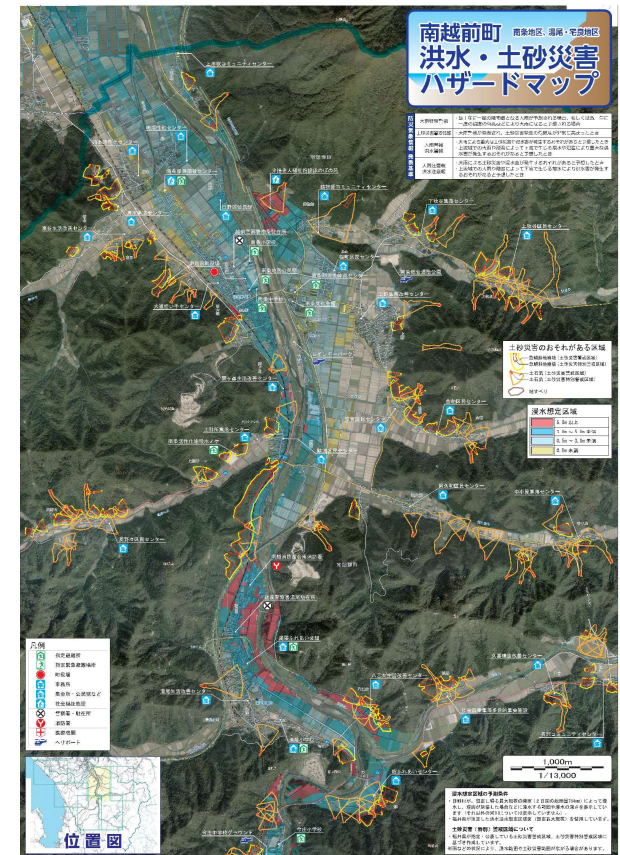
ハザードマップ(法指定河川とその他河川を含む)のR3年度末100%目標を達成するため、県は市町担当者説明会を通じ、進捗確認や県統一方針の指導に努めました。

ハザードマップ作成状況(法指定河川とその他河川を含む)

	令和元年度
着手	9市町
完成	1町 (南越前町、法指定河川のみ)



ハザードマップ説明会(県庁)



南越前町ハザードマップ

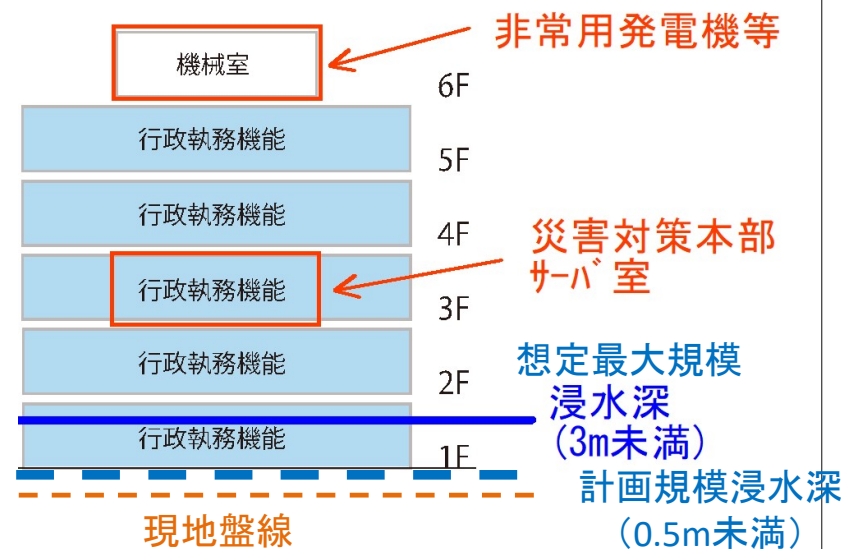
非常用発電設備等の浸水対策について

令和元年10月に完成した新庁舎は、庁舎1階の床高を計画規模の浸水深(+0.5m未満)以上の+0.5m以上とし、災害対策本部や防災無線室、サーバー室を想定最大規模の浸水深(3.0m未満)以上の3階(+9.3m)に、非常用発電機などの機械設備を最上階の6階(+21.9m)に設置し、庁舎機能が維持できる建物としました。

また庁舎前広場は、近隣住民等の一時的な避難場所として、あるいは応援隊の受入場所として、給排水や電気のインフラのほか、マンホールトイレを設置するなど、災害時の防災拠点としての機能も有する施設となります。



令和2年度に完成する庁舎前広場には、給排水や電気などのインフラを整備するなど、「防災ひろば」として機能を有しています



(2) 令和2年度 協議会の取組予定について
(資料2の抜粋)

出水時に、堤内地、堤外地に関しカメラの巡回操作を行わず、必要な情報の把握を行うことができる360°カメラを直轄樋門22施設（九頭竜川水系18施設、北川水系4施設）に導入します。

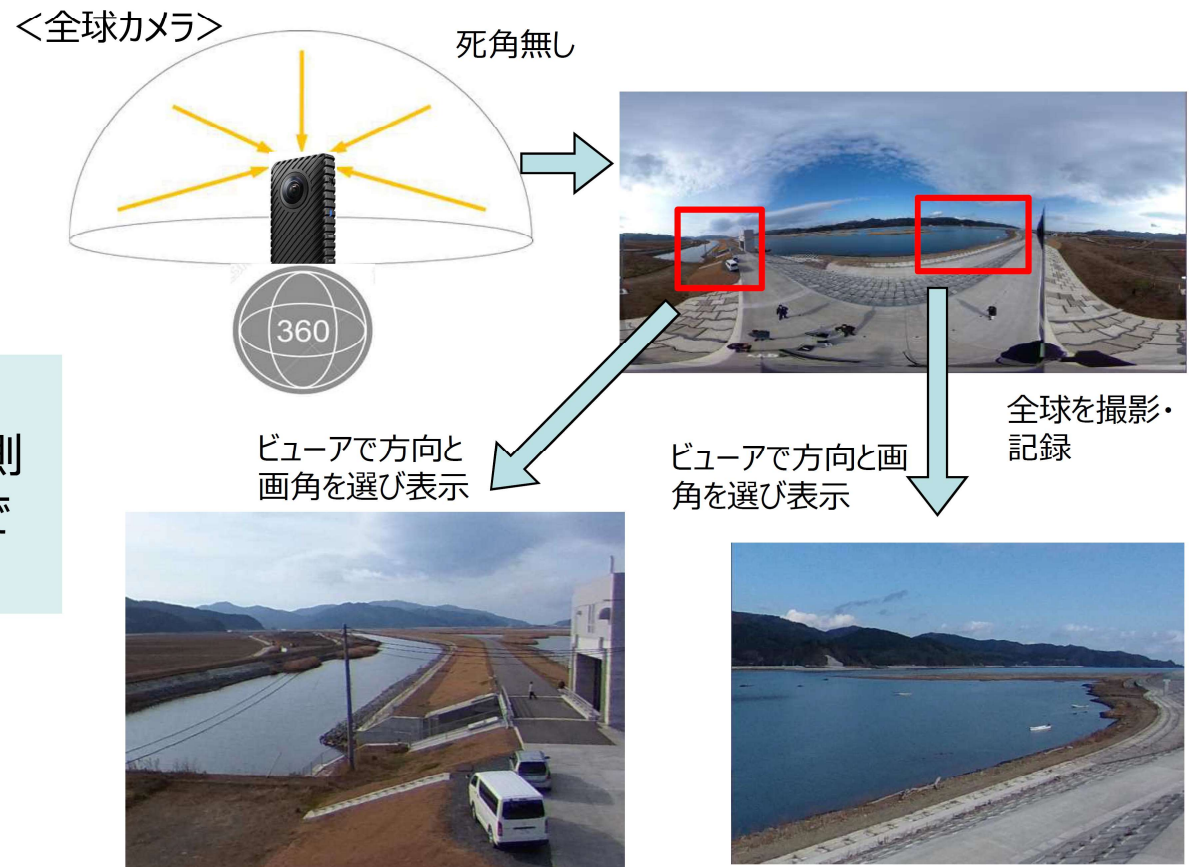
● CCTVに360°カメラ導入を導入する際の利点

- ① 各々の閲覧者が自由に見たい角度の映像を閲覧
- ② 蓄積映像は巡回無しで全角度録画（事象発生時を明確に記録）
- ③ 低コストなカメラの導入（制御機能不要、民生品の導入）
- ④ 画像処理技術、AI技術導入の促進（固定画像の取得が容易）

● 解決すべき課題（R1検討中）

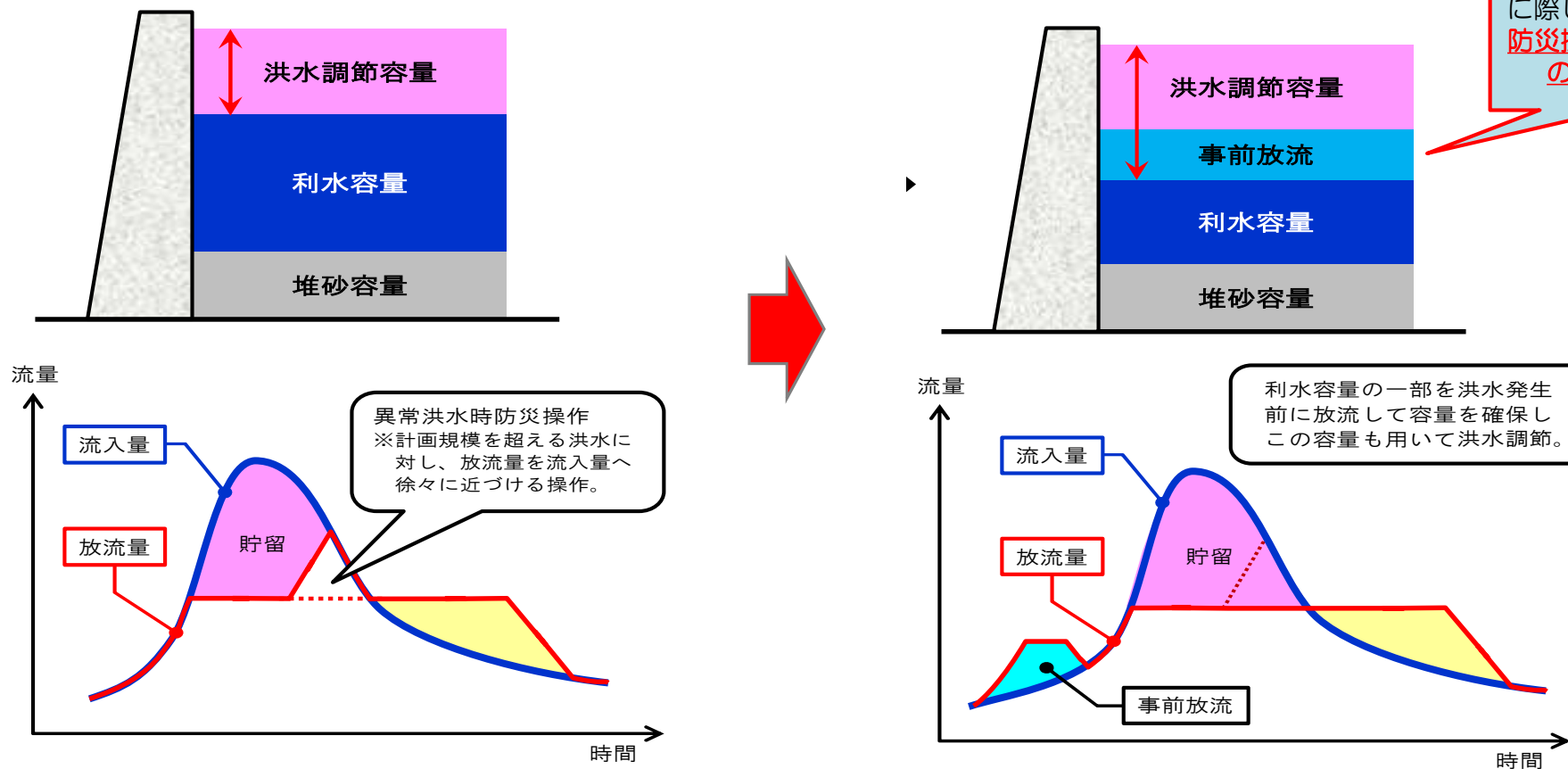
- ① カメラ仕様等の検討
- ② 映像情報共有システムでのビューワソフト開発・検証

全球カメラは水平・垂直方向360度を同時に撮影でき、専用ビューアを用いてPC側で画像を切り取り表示する。また、複数人で違う画角を同時に閲覧可能。



○既存ダムの洪水調節機能強化に向けて、今年度より、北陸電力(株)が管理する雲川ダムと仏原ダム、電源開発(株)が管理する鷲ダムにおいて、治水協定の締結により、事前放流の運用を開始することで、利水ダムの洪水調節可能容量が新たに加わり、既存ダムの洪水調節機能が強化されます。

事前放流のイメージ



③ 水位計・量水標、河川監視カメラ設置の検討と情報共有(県) P.13.

福井県

迅速な住民避難につながる情報の充実を図るため、水位計および河川監視カメラを追加配備します。

➤ 令和2年度、県の水位計(危機管理型)を8箇所追加

県水位計 101⇒109(従来型83、危機管理型26)

従来型

危機管理型

番号	観測所名	河川名	番号	観測所名	河川名	番号	観測所名	河川名	番号	観測所名	河川名
1	九十九橋	足羽川	22	安沢橋(石塚)	磯部川	43	鳥羽	浅水川	64	今庄	日野川
2	朝谷	足羽川	23	石塚	竹田川	44	糺橋	日野川	65	ニッ屋	日野川
3	栗川水門(足羽川水位)	荒川	24	坪江	竹田川	45	松成	鞍谷川	66	岩谷	日野川
4	栗川水門(足羽川水位)	足羽川	25	川上	竹田川	46	北中	河和田川	67	呉竹	笙の川
5	河増	荒川	26	平岩	竹田川	47	宝泉寺	天王川	68	野神	笙の川
6	原目	荒川	27	諏訪間	永平寺川	48	江波	天王川	69	堂	笙の川
7	江端川水門(江端川水位)	江端川	28	小舟渡	九頭竜川	49	近田橋(気比庄)	和田川	70	木の芽	木の芽川
8	江端川水門(日野川水位)	日野川	29	比島	九頭竜川	50	田中	和田川	71	四石橋	井の口川
9	江端	江端川	30	松丸	九頭竜川	51	石田川水門(日野川)	日野川	72	河原市	耳川
10	狐川水門(狐川水位)	狐川	31	井の口	真名川	52	石田川水門(石田川)	石田川	73	鳥浜	はず川
11	狐川水門(日野川水位)	日野川	32	新在家	清滝川	53	中平吹	日野川	74	三方湖	三方湖
12	若杉	狐川	33	大橋	赤根川	54	北	浅水川	75	和久里	南川
13	上里	底喰川	34	貝皿	石徹白川	55	家久(吉野瀬川)	吉野瀬川	76	中井	南川
14	上森田	芳野川	35	黒当戸	真名川	56	上太田	吉野瀬川	77	和多田	南川
15	安保	朝六ツ川	36	秋生	真名川	57	粟田部	鞍谷川	78	小倉	南川
16	岩崎(金井)	竹田川	37	栄	浄土寺川	58	東庄境	服部川	79	遠敷	遠敷川
17	六日	竹田川	38	長山	浄土寺川	59	稲荷	足羽川	80	四分一	松永川
18	矢地	竹田川	39	砂留花橋(第3警備局)	浄土寺川	60	河内	足羽川	81	本郷	佐分利川
19	里竹田	竹田川	40	出作	浅水川	61	新保	魚見川	82	小和田	関屋川
20	下兵庫	兵庫川	41	黒津川水門(黒津川水位)	黒津川	62	家久(鯖江)	日野川	83	山田	大津呂川
21	長屋	田島川	42	黒津川水門(足羽川水位)	浅水川	63	聖橋	日野川			

赤: 令和2年度
8箇所

➤ 令和2年度、県の河川監視カメラ(簡易型)を12箇所追加

県カメラ 44⇒56(従来型25、簡易型31)

従来型

簡易型

番号	監視所名	河川名	番号	監視所名	河川名
1	九十九橋	足羽川	1	原目	荒川
2	朝谷	足羽川	2	灯明寺	馬渡川
3	勝見	荒川	3	江端川水門	江端川
4	江端町	江端川	4	内山梨子	七瀬川
5	若杉	狐川	5	天池	大森川
6	上里	底喰川	6	松城	古川
7	上新橋	竹田川	7	石上	河内川
8	下兵庫	兵庫川	8	牛ヶ原	日詰川
9	新庄	赤根川	9	上河端	穴田川
10	横枕	清滝川	10	河和田	天神川
11	比島	九頭竜川	11	越越	足羽川
12	万代橋	日野川	12	木ノ芽橋	木の芽川
13	聖橋	日野川	13	井崎橋	ハス川
14	上太田	吉野瀬川	14	朝霧	鳥羽川
15	栗田部	鞍谷川	15	新保橋	野木川
16	鳥羽	浅水川	16	本郷橋	佐分利川
17	宝泉寺	天王川	17	戸口	河和田川
18	呉竹	笙の川	18	種ノ芽橋	井の口川
19	河原市	耳川	19	東隣2丁目	田島川
20	鳥浜	三方湖	20	福島	兵庫川
21	和久里	南川	21	北郷町	畷見川
22	羽賀	江古川	22	中保	清滝川
23	無悪	鳥羽川	23	調整中(福井市)	志津川
24	遠敷	遠敷川	24	“ (越前市)	織田川
25	小和田	関屋川	25	“ (小浜市)	江古川
			26	“ (小浜市)	多田川

赤: 令和2年度
12箇所

b7 ダムの貯水位等の情報提供

・住民等による主体的な避難を促進するため、福井県河川砂防情報システムに県管理ダムにおける洪水時の貯水位等の状況を掲載します。

福井県 河川・砂防総合情報

TOP | データ種別 | 雨量 | 水位 | **ダム** | 地震(ダム) | 気象(ダム) | カメラ | 危機管理型水位計 |
表示形式 | 状況図 | 現況表 | 一覧表 |

★観測情報

- 雨量観測情報
- 水位観測情報
- ダム観測情報
- 河川カメラ画像
- 帳票/データ出力

★洪水予報情報

- 洪水予報発表情報

★気象情報

- 気象庁レーダ雨量情報
- 気象警報・注意情報
- 津波警報

★土砂災害警戒情報(補足情報)

- 土砂災害危険度情報
- 土砂災害警戒区域等管理システム

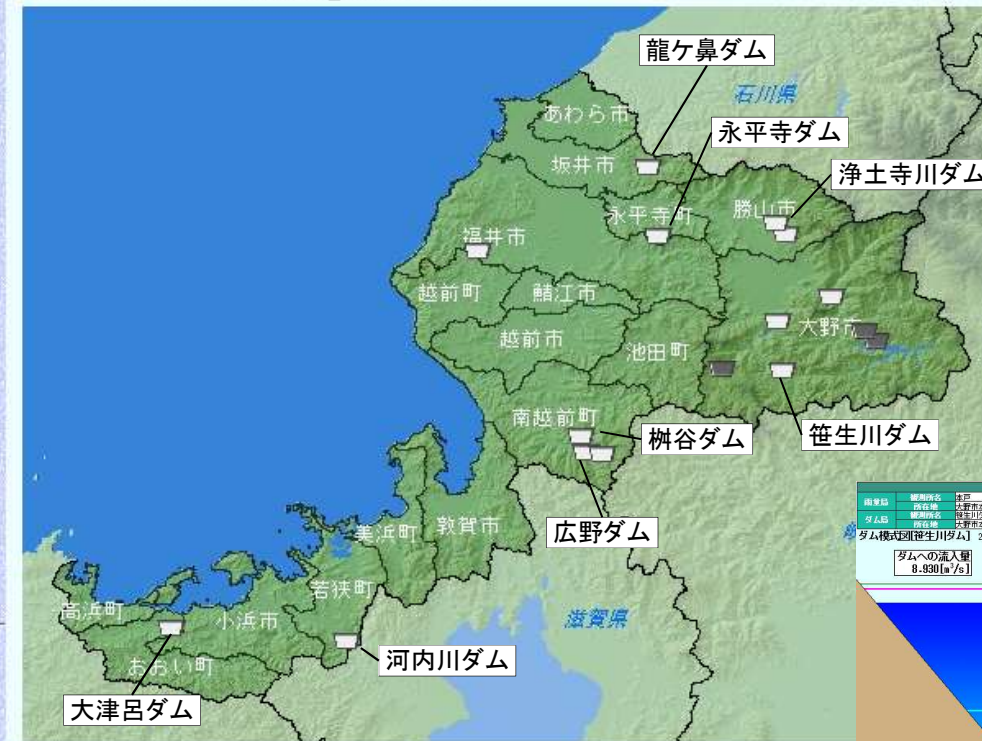
★浸水想定区域・浸水実績

- 水害ハザード情報

◎河川・砂防情報について
◎トップページへ

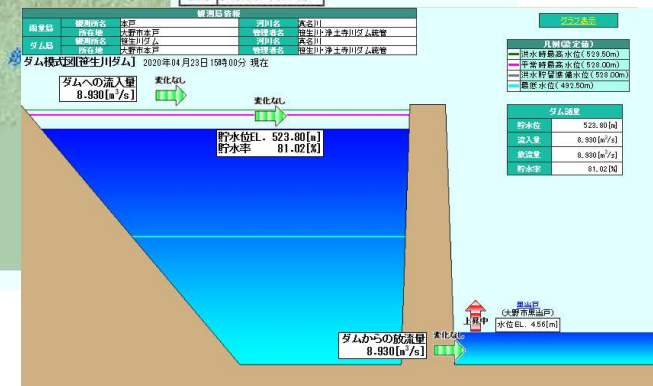
ダム諸量状況図(全県)

アイコンリンク先設定 ○グラフ ○警報履歴 ●模式図



凡例

- 洪水調整中
- 流入量超過
- 通常運用中
- 欠測/無効



県のホームページで
ダムの貯水位、流入量、放流量
等が見られるようになります。
(令和2年6月～)

-福井県 河川・砂防総合情報HPで公開(イメージ)-

水防法の規定により、洪水予報河川および水位周知河川の20河川※2などについて、想定最大規模の降雨※1による「洪水浸水想定区域」の指定・公表を令和元年6月4日に行いました。

また、その他の県管理河川について、洪水による水害の危険性を示す「水害リスク図」の作成を進めており、令和2年5月26日に60河川を公表しました。(既公表4河川と合わせて64河川を公表) 残りの107河川については、8月頃完成を予定しています。

洪水浸水想定区域図、水害リスク図の公表河川

(令和2年5月26日時点)

県管理河川数		公表河川数
洪水浸水 想定区域図	洪水予報河川 (全5河川)	・竹田川・日野川・足羽川・笙の川・南川 (日野川と足羽川は、一部水位周知区間を含みます)
	水位周知河川 (全15河川)	・九頭竜川・日野川・足羽川・兵庫川・荒川・江端川・浅水川・鞍谷川 ・天王川・吉野瀬川・赤根川・清滝川・耳川・鱒川・遠敷川・佐分利川・関屋川
水害リスク図	その他河川 (全171河川)	(4河川※2) ・井の口川・磯部川・南河内川・八ヶ川
		(60河川) ・高間川・田島川・木瓜川・狐川・犀川・越智川・河濯川 ・木の芽川・松永川・子生川 など *残りの107河川は8月頃完成予定
全191河川		計84河川

凡例	
	既公表
	5月26日公表

※1 概ね1,000年に一度以上の確率で発生する大雨

※2 4河川の「水害リスク図」は、「洪水浸水想定区域図」の公表と合わせて公表済み

⑥水位周知河川（水防警報河川）の見直し(県) P.14 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成（県）

福井県

e2 水位周知河川等の見直し

近年の台風等による甚大な被害を踏まえ、住民等の迅速な避難を図るため、足羽川(池田町内区間)と井の口川(敦賀市)を水位周知河川(水防警報河川)に追加します(令和2年6月から法指定河川は20→21河川に追加予定)。それに伴い、水防活動や避難行動の目安となる水位情報(避難判断水位)を新たに設定します。

c1 想定最大外力を対象とした浸水想定区域図等の作成

上記2河川の追加に伴い、洪水浸水想定区域を新たに指定します。

足羽川位置図(常安橋から持越橋まで)

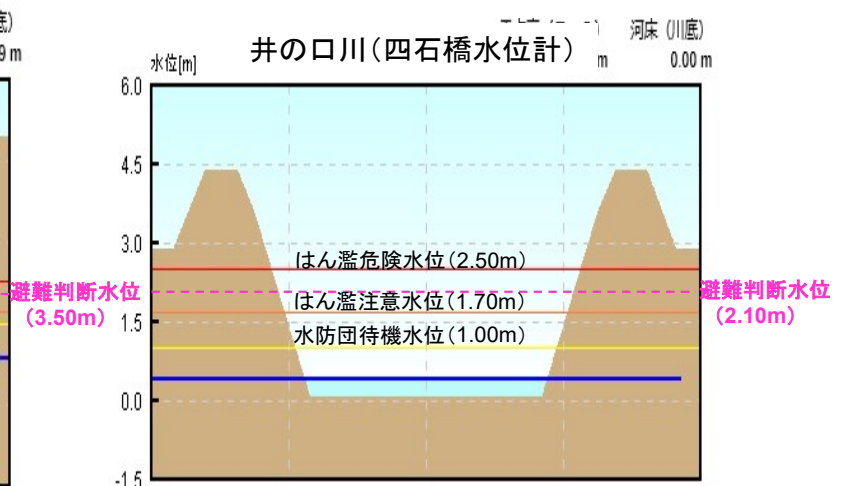
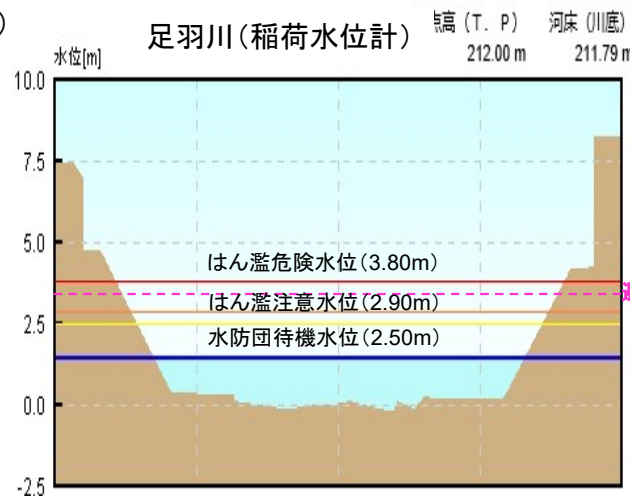


※今回変更は、浸水区域に役場等の水防拠点があり、洪水により相当な被害を生じるおそれがある河川について追加

足羽川、井の口川の基準水位

	足羽川（稲荷水位計）	井の口川（四石橋水位計）
氾濫危険水位	EL = 3.80 m	EL = 2.50 m
避難判断水位	<u>EL = 3.50 m</u>	<u>EL = 2.10 m</u>
氾濫注意水位	EL = 2.90 m	EL = 1.70 m
水防団待機水位	EL = 2.50 m	EL = 1.00 m

井の口川位置図(三味線川合流点から日本海まで)



⑦洪水を安全に流す対策(県)(P15)

○「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の交付金も活用した、対象となる15河川の樹木伐採・堆積土砂除去、堤防強化、河川改修の促進

- ・交付金事業対象外の河川についても、現地状況を確認し、県単独事業を活用して促進します。
- ・しかし、まだまだ不足するため、緊急対策について3か年に限らず継続する他、対象を拡大するよう国への要望が必要です。

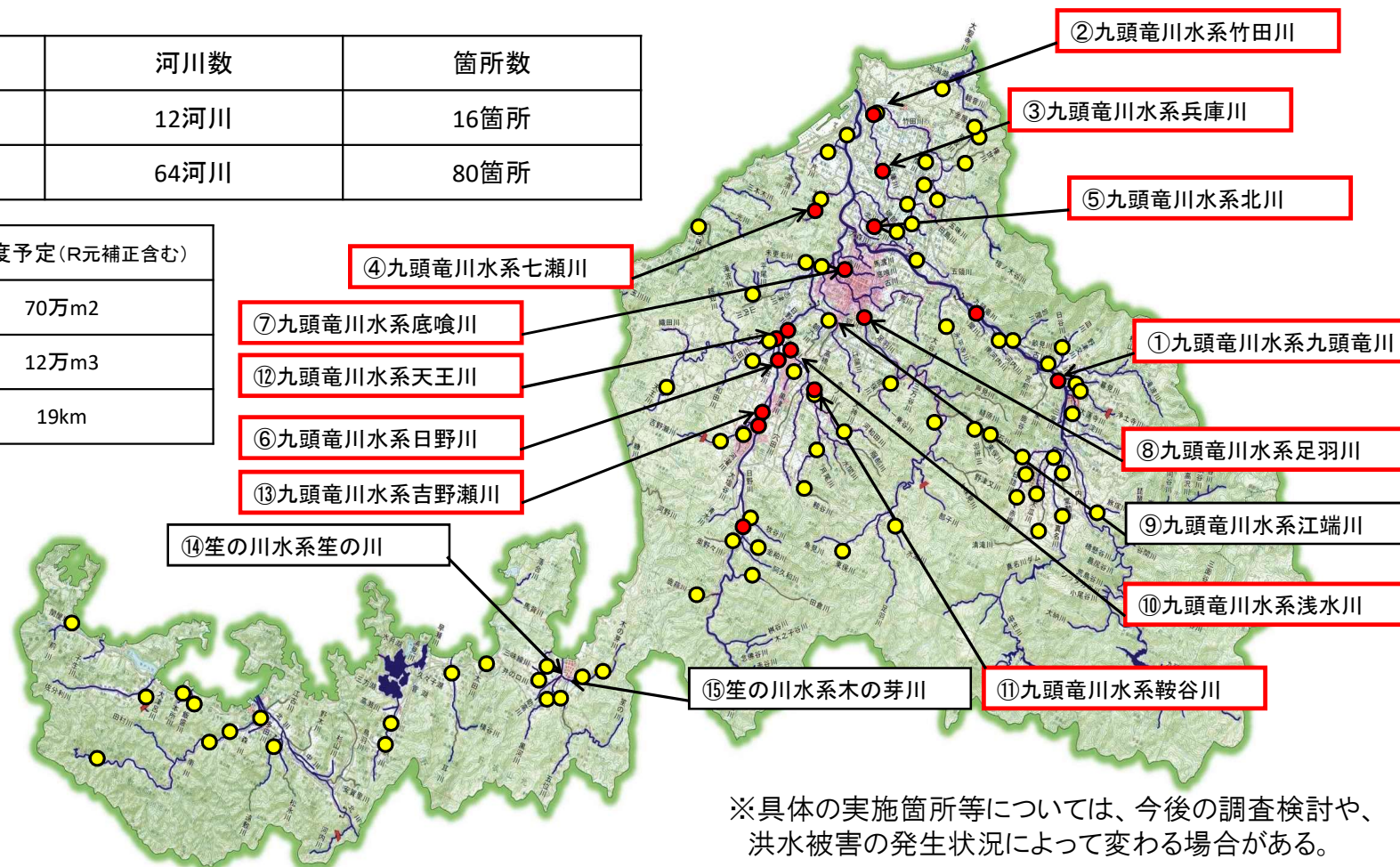
「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」対象の河川
および 緊急浚渫推進事業債を活用する河川

全国の市町からの要望を受け、国は緊急対策を実施することを決定した。

令和2年度実施予定

	河川数	箇所数
● 3か年緊急対策	12河川	16箇所
● 緊急浚渫推進事業債	64河川	80箇所

	R2年度予定(R元補正含む)
樹木伐採 (全体約300万m ²)	70万m ²
堆積土砂撤去	12万m ³
堤防強化(天端舗装)	19km

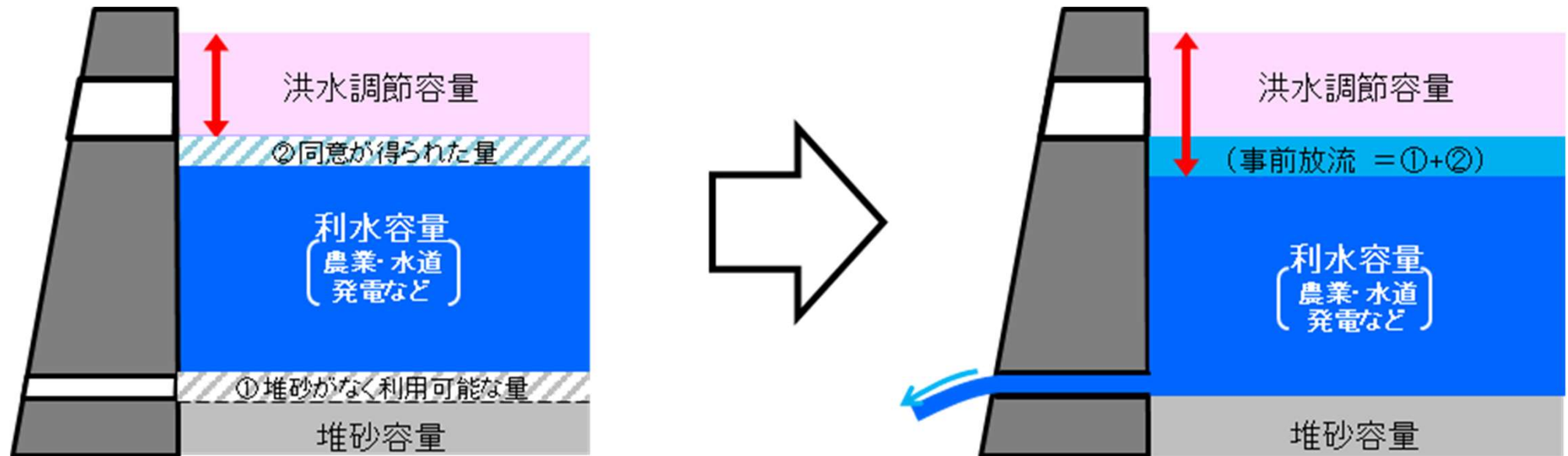


※具体的実施箇所等については、今後の調査検討や、洪水被害の発生状況によって変わる場合がある。

既存ダムの洪水調節機能強化に向けて、
今年の出水期※より、県管理8ダムにおいて事前放流の運用を開始します。

※出水期:6/16~10/15

<事前放流のイメージ>



○事前放流の効果
県管理ダム全体で洪水調節容量を最大で約2割増やす。

○事前放流の実施方法
・水利用の需要が少ない時期(9月~2、3月):あらかじめ水位を下げる
・それ以外の時期:国から提供される「ダム上流の予測降雨量」が基準となる値以上であるときに実施

○事前放流量の確保方法
①堆砂容量(将来的な堆砂に備えて確保している量)のうち、堆砂がなく利用可能な量
②利水容量(水利用のために貯めている量)のうち、利水者と調整し同意が得られた量

⑨洪水時の庁舎等の機能確保のための対策の充実(県)(P17)

福井県

非常用発電設備等の浸水対策について

地域防災計画上の重要施設(58施設)において、令和2年度に9施設の非常用発電設備(無給油で72時間稼働可能)が完成します。令和2年度末で33施設(57%)が完了し、優先度が高い12施設については、令和3年度までに完了します。

対応済 24

令和2年度完成 9

令和3年度完成 12

対応時期	施設数	施設名
対応済み	24	県庁舎+議会
		奥越土木事務所
		奥越土木事務所(勝山)
		丹南土木事務所
		丹南土木事務所(鯖江丹生土木部)
		敦賀オフサイトセンター
		美浜オフサイトセンター
		大飯オフサイトセンター
		高浜オフサイトセンター
		県生活学習館
		サンドーム福井
		荒川第一排水機場
		黒津川排水機場
		永平寺ダム監視所
		笹生川・浄土寺川ダム統合管理事務所
		笹生川ダム監視所
		浄土寺川ダム監視所
		広野ダム監視所
		榎谷ダム監視所
		二ツ屋導水施設管理棟
		河内川・大津呂ダム統合管理事務所
		河内川ダム監視所
		大津呂ダム監視所
		県立病院(メイン機)
合計	24	

対応時期	施設数	施設名
R2 着工・完成予定	9	福井合庁
		坂井合庁(三国土木含む)
		奥越合庁
		南越合庁
		敦賀合庁+敦賀土木
		若狭合庁+小浜土木
		県産業会館
		福井土木事務所
		広野・榎谷ダム統合管理事務所

対応時期	施設数	施設名
R2 着工 R3 完成予定	12	福井健康福祉センター
		坂井健康福祉センター
		奥越健康福祉センター
		丹南健康福祉センター
		二州健康福祉センター
		若狭健康福祉センター
		福井港湾事務所
		敦賀港湾事務所
		福井空港事務所
		荒川第二排水機場
		龍ヶ鼻・永平寺ダム統合管理事務所
		県国際交流会館

令和3年度以降着手 7

対応時期	施設数	施設名
R3 以降対応	7	九頭竜川浄化センター
		竹田川ポンプ場
		兵庫川ポンプ場
		片川ポンプ場
		芦原ポンプ場
		春江ポンプ場
		北潟ポンプ場
合計	7	

⑩ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成および 避難訓練実施の促進支援(市町) P.19

市町

施設管理者を対象とした講習会「講習会プロジェクト」を 4市町において開催します。
座学(前期)とワークショップ(後期)を組み合わせることで、洪水・土砂災害の理解
が深まり、計画作成が促進されます。
法指定河川における計画作成率について、令和3年度末100%の目標を達成するため、令和
2年度末75%(施設数の3/4)を目標として取り組んでいきます。

令和2年度 計画作成目標(法指定河川※21河川)

年度	施設数	計画作成数	計画作成率	備考
H30年度末	840	95	11%	計画規模
R元年度末	1445	571	40%	想定最大規模
R2年度末			75%目標	

※水防法に規定する洪水予報河川、水位周知河川。令和2年6月から20→21河川に追加予定です。

県管理河川の洪水浸水想定区域の公表を受け、6市町がハザードマップの作成に着手します。

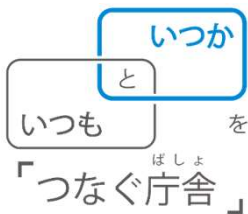
ハザードマップ(法指定河川とその他河川を含む)のR3年度末全市町更新の目標を達成するため、県が市町担当者説明会を通じ、進捗確認や統一方針の指導に努めます。

ハザードマップ作成状況(法指定河川とその他河川を含む)

	令和元年度	令和2年度
着手	9市町	6市町
完成	1町 (南越前町、法指定河川のみ)	12市町目標

j1 庁舎受変電設備、非常用発電設備等の浸水対策

平成29年6月に現庁舎所在地にて庁舎の建て替えを決定し、令和2年度末完成～令和4年度グランドオープンを予定している。平成20年に竣工した敦賀市防災センターとともに災害時の中枢防災拠点として機能を発揮するよう、免震+連結制震構造を採用し、震度7程度の地震にも複数回耐えられる耐震性を確保するとともに、非常用発電設備等を上階に整備し、計画規模の洪水等の浸水対策を施すことで業務継続性の高い庁舎とする。また、同時期に建て替えを行う消防庁舎との合築庁舎とすることで、来庁者の防災意識を高め、安全・安心の拠点とする計画である。



基本計画の基本理念

- ① **市民の安全安心を確保した災害に強い庁舎**
- ② 市民が利用しやすい親しみの持てる開かれた庁舎
- ③ 人にやさしい環境にやさしいストレスフリーな庁舎
- ④ 行政サービス提供のための機能性に優れ柔軟で効率的な庁舎

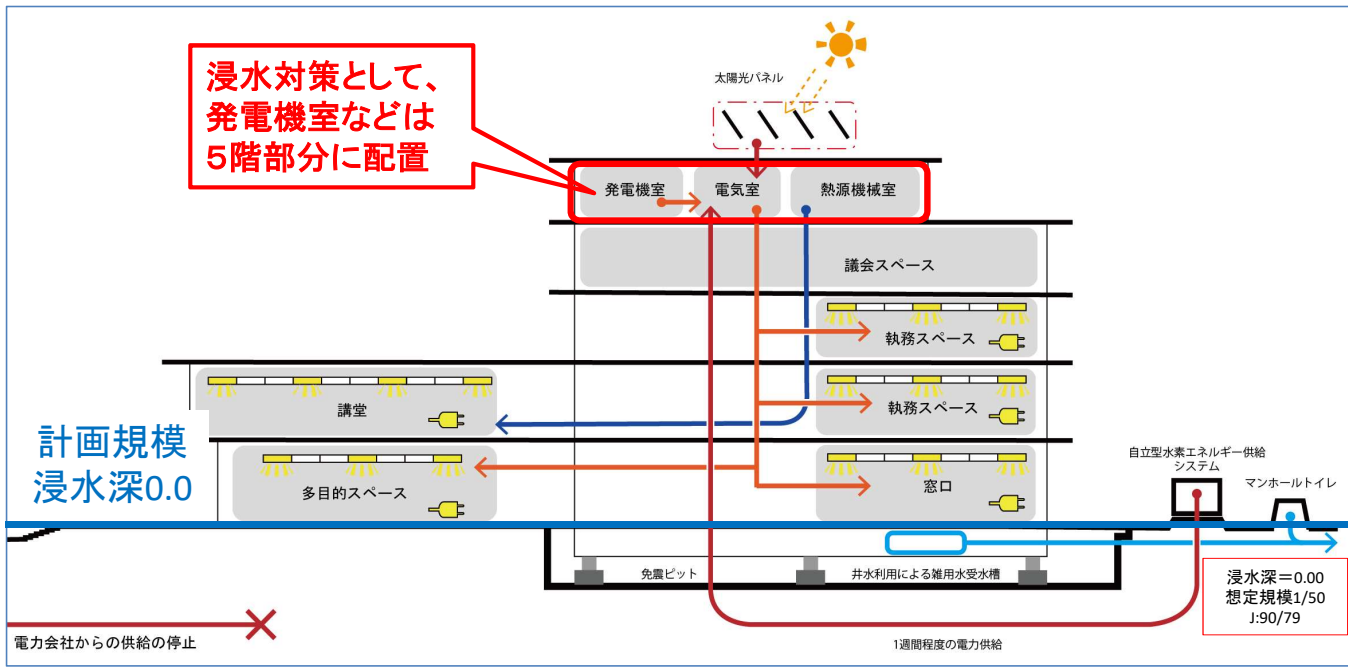
基本設計のコンセプト

- 「日常」と「災害時」をつなぐ庁舎**
- 「毎日」と「特別な日」をつなぐ庁舎
 - 「人」と「自然」をつなぐ庁舎
 - 「いま」と「みらい」をつなぐ庁舎

災害時の設備イメージ

電力会社からの電力供給が途絶した場合でも、非常用発電設備、太陽光設備+蓄電池システム+自立型水素エネルギー供給システムにより、業務に必要な最低限の電力供給を確保する計画。

白いフレーム内に名勝「気比の松原」をイメージしたルーバーが特徴的な新庁舎(北側)の外観イメージ



- ・市庁舎 …延床面積:10,349㎡、構造種別:鉄筋コンクリート造5階建て、一部プレストレストコンクリート構造(免震構造)
- ・消防庁舎 …延床面積:2,535㎡、構造種別:鉄骨造3階建て(耐震構造)
- ※市庁舎(免震)と消防庁舎(耐震)を制震ダンパーで連結する「連結制震構造」を採用
- ・建物高さ 24.1m

庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策

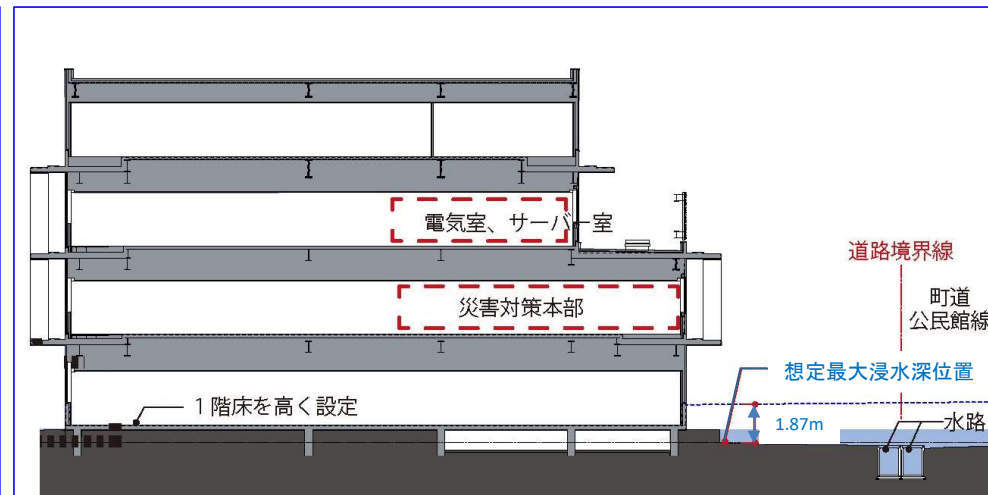
・越前町役場本庁舎建設による災害対策機能の強化

(j1)越前町役場本庁舎建設による災害対策機能の強化

- 越前町役場本庁舎の北側には、福井県管理河川である天王川が流れており、豪雨による洪水発生時には浸水が予想される。
- このため、新庁舎の外周部での想定最大規模の浸水高となる地点を基準に地盤高を設定(1階部分の嵩上げ)するとともに、1階フロアは防水板を設置できる構造とすることで浸水対策に万全を期す。
- 災害対策本部室を2階に、電気室(非常用発電設備)、サーバ室を3階に置くなど、浸水時においても災害対応機能を維持できるものとする。



新庁舎の外観パース



浸水危機管理に対応した庁舎設計

【承認事項】(1)国協議会 規約一部改正について(資料3)

- 国協議会において、利水ダム管理者(北陸電力(株)、電源開発(株))をオブザーバーに追加
- 国協議会において、協議会内に報道機関15社と国、気象台をメンバーとした「地域メディア連携検討会」を設置

【目的】

リスク情報や水害・土砂災害情報の情報発信・伝達の取組を検討する

【参考】

R元年度 「近畿地方メディア連携協議会」(近畿地方整備局)

第1回近畿地方メディア連携協議会の概要

- 日 時: 令和元年6月12日(水) 15:00~17:20
- 場 所: 大阪合同庁舎第1号館(近畿地方整備局)
- 参加団体: 10社(五十音順)
(株)アドバンスコープ/大阪放送(株)/ (株)京都新聞社
(株)神戸新聞社/ (株)産業経済新聞社 大阪本社
(株)テレビ和歌山/ (株)奈良新聞社、
日本放送協会 大阪放送局/びわ湖放送(株)
(株)福井新聞社
- 議 事: ① 「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」の取組 【情報共有】
② 近畿地方整備局における水害・土砂災害情報の提供・伝達等の取組 【情報共有】
③ 平成30年7月豪雨等における各団体の取組状況と課題について 【意見交換】

論点①
より分かりやすい情報提供の
あり方は？

論点②
住民に切迫性を伝えるために
何ができるか？

論点③
情報弱者に水害・土砂災害情
報を伝える方法とは？

近畿地方整備局職員による解説報道デモの様子



【承認事項】 (2) 国・県協議会 取組方針の変更について(資料4～6)

・国協議会取組方針の変更(資料4参照)

以下の内容について、目標時期を変更します。

- ・天端の舗装について、令和2年度→令和元年度に前倒し
- ・裏法尻の補強について、令和2年度→令和元年度に前倒し
- ・市町を超えた広域避難計画の検討について、令和元年度→令和2年度に変更

・県協議会取組方針の変更(資料5, 6参照)

以下の内容について、令和2年度の取組として追加します。

- ・ダムの貯水位等の情報発信について
- ・ダムの事前放流の運用について

【市町への依頼事項】

(1) 要配慮者利用施設の避難確保計画(法指定河川)の作成

令和3年度末100%の目標を達成するため、令和2年度末75%を目標として取り組んでいただきたい。講習会プロジェクトの開催等の取組をお願いしたい。

(2) ハザードマップ(法指定河川とその他河川を含む)の更新

令和3年度末100%に向け、現在着手中の12市町は令和2年度内完成を目標に、残り4市町は令和3年度内完成を目標に作業を進めていただきたい。

(3) 重要水防箇所共同点検と水防訓練の実施

出水期前に、県土木と共同で点検・訓練をお願いしたい。